

新しい労働組合への転換 組合員の『関与』を高める

# ON・I・ON2公開セミナー

オニオン・ツー

全国労働組合共同調査プロジェクト「ON・I・ON2」のコンセプトに基づいた参加型セミナー

◆主催 株式会社 応用社会心理学研究所 ◆後援 公益社団法人 国際経済労働研究所

## ◆ 日程

2015年12月1日(火)～2日(水) (1泊2日)

## ◆ 会場

アイ・アイ・ランド (大阪府 四条畷市)

### 早期・団体割引 有

本セミナーより「正会員・一般価格」を適用しています。詳しくは裏面お申し込み規定をご覧ください。

## ◆ 特徴

1. 参加型ワークショップにより、現場に戻ってから使える活動のガイドラインを習得
2. 単なる交流に終わらない、業界を超えた情報交換が可能
3. 全国230万人の意識調査データから、豊富な事例と活用方法をご紹介
4. お一人でも複数でも、希望する人数で参加が可能

## ◆ 対象

労働組合 支部執行委員レベル以上

- ・執行委員の動機づけをお考えの方(三役、教育担当、組織担当の方など)
- ・組合員を活動に巻き込む方法や活動のアピールに悩んでおられる方
- ・組合のあり方について、新しい視点を模索されている組織の方
- ・ON・I・ON2調査、研修をご検討の担当の方
- ・ON・I・ON2の考え方に興味を持たれた方

詳しくは次ページをご覧ください

講師

ヤギ リュウイチロウ

八木 隆一郎 (公社)国際経済労働研究所 専務理事・統括研究員

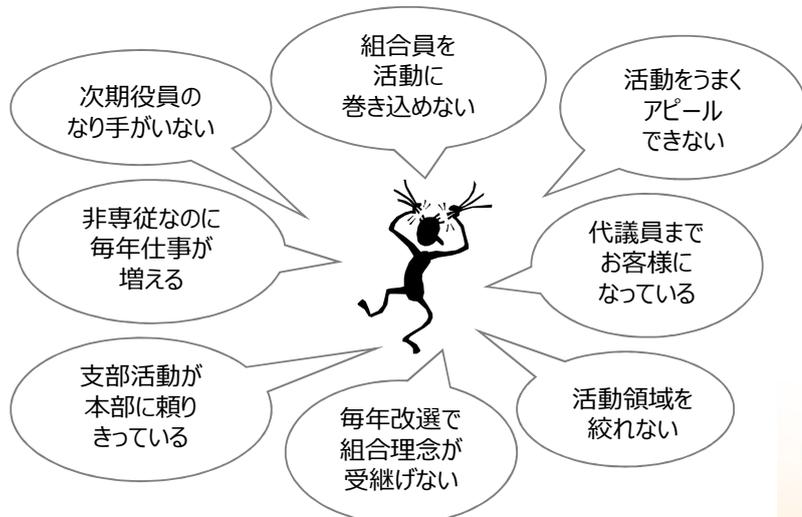


社会心理学者。動機づけ、人間関係、組合関与など研究分野は多岐にわたる。全国の主要労働組合が参加した「国際経済労働研究所第30回共同意識調査ON・I・ON2」をまとめ、ON・I・ON研究会などの研究グループを主宰。研究の傍ら、大学で経営心理学、社会心理学などの教鞭をとる。日本社会心理学会では自主シンポジウム『社会心理学における「産・労・学」協同の可能性』を研究会メンバーとともに発表。学会関係者のみならず産業界・労働界からも注目を集めた。著書に「成熟世界のパラダイムシフト」(共著・啓文社・1992)など。

# 組合員をお客様にしていませんか？

## 執行部の日頃の悩み

(よくある声を集めると・・・)



## その背景とは？



この状況から一歩でも前に踏み出すには・・・



キーワードは『**関与**』

組合員一人ひとりが労働組合の役割と存在意義を  
「自らの問題として」認識すること = 『**関与**』が重要



現状他人まかせの  
“お客様”で  
構成された組織

現状

どっちが強い？

本来の姿

“メンバー”であると  
自覚した人々で  
構成された組織



## 現状は変えられる。組合員は活動を担うメンバー

ON・I・ON 2 公開セミナーでは、



- 組合活動のあり方を **社会心理学** という新たな切り口で見つめ直します
- **労働組合がなぜ元気をなくしたのか**、その原因を振り返ります
- なぜ **組合員がメンバー** でなければならないか、を理解します
- どうすれば組合員がメンバーとして **活動に関わりたくなるのか** を考えます
- 有効な活動プランの **作成プロセス** を体験できます

# スケジュール(予定)

## 1日目

13:00 (開始) オリエンテーション

### レクチャー

#### 1. はじめに

研究所の自己紹介を兼ねた問題提起

#### 2. 社会心理学についての概論

労働組合を見つめ直すために有効な視点を学ぶ

#### 3. 労働組合の現状

組合員の組合離れはなぜ起こるのか？

330組織 約230万人の  
組合員意識調査結果をご紹介します！

#### 4. 組織改造のための関与と評価

活動につながる調査のコツと

調査データの活用方法

#### 5. 日本的企業文化と労働組合

会社はカネのかたまりか？ヒトのかたまりか？

ヒト重視の企業統治を担う組合の役割を理解する

#### 6. 組合活性化へのアプローチ

強要ではなく、組合員が自発的に組合に関わりたく  
なるためのポイントとは？

#### 7. 組合関与の広がり

顧客でさえエンゲージメント（関与）が問われる今、  
関与型組織としての労働組合のあり方を再確認する

### ワーク(演習)

#### 8. スクラップ&ビルド

「関与」という切り口で実際に活動を考える

\* アイデアの洗い出しと活動領域の絞込み

\* 深い議論により、レクチャー内容・調査結果を  
ふまえた具体的アクションに落とし込む

(宿泊)

## 2日目

### ワーク(演習)

#### 9. 活動プランの発表・質疑応答

グループで作成した活動プランの発表と質疑応答

#### 10. 総合議論

発表をふまえ、さらに議論を  
掘り下げる今後の活動の  
手ごたえや気づきを共有



16:00 (終了・解散)

クロージング

## 参加者の皆様の声

- 今までと見方の違う研修で大変参考になった
- 今回のセミナーが自分にとって「はっ!!」となる内容でした
- 組合員がお客さまになっているなど、考えれば、当たり前のことをおかしいと思わなかったことに気づいた
- どの組合も、組合員がお客さまになっているなど同様の問題を抱えており、そこを変えなければ組合も会社も社会も変わっていかないことを再認識した
- 組合員の無関心に対してちょうど良いテーマであった。同じような形で代議員、執行員研修会で議論したい
- グループ討議が中心であったことから集中して参加できた
- 他業態の方々と情報交換できたことは非常に財産になった
- 具体的な計画について有効なアイデアをたくさん得られた
- 全く当研修の予備知識がなく参加しましたが講師のレクチャーが非常にわかりやすく、貴重な体験でした
- 自チームの企画については、単組でも是非実行したい
- 今後も連絡を取り合いたい仲間ができた など



### 過去の公開セミナー参加組織

(敬称略、50音順。ご了承いただいた組織を掲載)

阿波銀行従業員組合

イオンテールワーカーズユニオン NTN労働組合

キンビール労働組合 キヤノン労働組合

サンデン労働組合 ツムラ労働組合

豊田自動織機労働組合 日東電工労働組合

富士電機労働組合 マツダ労働組合

ミズノユニオン 三菱UFJニコス労働組合

ユー・エス・ジェイ クルーアライアンス

ほか100組織以上

## お申し込み規定

■ **参加費（お1人様）** ※正会員とは、国際経済労働研究所の正会員を指します。

	個人	団体割引	早期割引	早期団体割引
正会員	73,000円	71,500円	71,500円	69,000円
一般	74,000円	72,500円	72,500円	70,000円

※団体割引（2名様以上でお申し込みの場合）

※早期割引（11月2日（月）までにお申し込みの場合）

■ **定員 30名**

※最少催行人数に満たない場合は、延期/中止する場合がございます。

■ **お申込み方法**

① 別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお送りください。  
メールの場合は、必要事項を転記いただくか、PDFファイルにして送信してください。

※お電話でのご連絡は予約のみ受け付けとなります。折り返し所定の用紙をお送りいたします。

② 参加ご案内、請求書は開催1ヶ月前より発送いたします。  
なお、1ヶ月以内にお申込みいただいた場合には、申込書受領後、お送りします。

③ 参加費は開催1週間前までに請求書記載の銀行口座へお振込ください。

■ **ご注意**

- ・録音、録画機器のお持込はご遠慮ください。
- ・レジュメは会場でお渡しします。参加者以外の方への配布は致しかねますのでご了承ください。

■ **キャンセル規定**

・参加者様のご都合による取消しについては、キャンセル料が発生する場合がございます。ご都合がつかない場合には、代理の方がご出席ください。

・開催7日前～前々日（初日を含まず起算）・・・参加費の30%

・開催前日および当日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参加費全額

※参加者の変更、または、キャンセルの場合は必ず事務局までご連絡ください。

■ **会場 アイ・アイランド**

住所：〒575-0011 大阪府四條畷市逢坂458

TEL：072-876-1911

URL：http://www.iiland.ne.jp/index.html

アクセス

- ① J R 学研都市線 四條畷駅
- ② 近鉄奈良線、近鉄東大阪線 生駒駅

※無料送迎バスをご用意しています。（時間はお申込後にご案内）

## ON・I・ON2とは・・・

1990年、多くの組合で組合員の組合離れが叫ばれ、活動のメニューが多様化し、組合のユニオン・アイデンティティが拡散する中、国際経済労働研究所では「労働組合の参加関与型組織としての再生」をテーマに、労働組合を取り巻く意識を研究するためのプロジェクトを立ち上げました。それがON・I・ON研究会です。

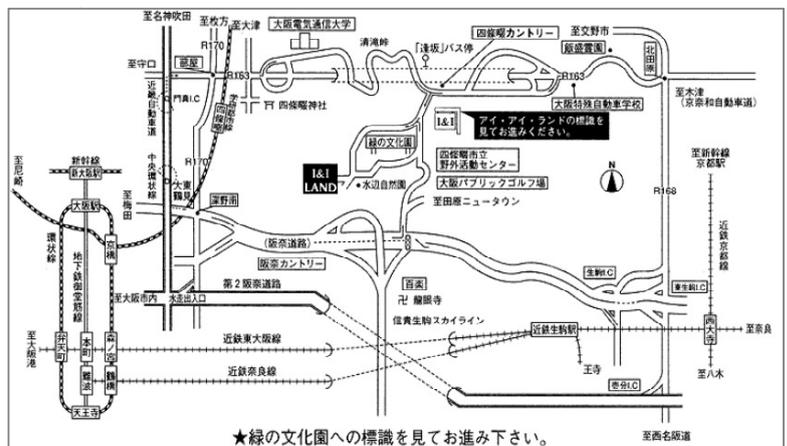
このプロジェクトは、現状の組合のあり方に警鐘を鳴らし、組合という組織を“**自らがメンバーとして参加し関わっていく**”という「参加関与型組織」として再生していくことを提案するものでした。

「ON・I・ON2調査」として知られている、国際経済労働研究所の第30回共同意識調査はこのコンセプトのもとに設計されました。

組合や会社に対する帰属意識や、メンバーである組合員が、組合を通じて何がしたいのかを探ることで、組合活動の総点検を行い、現在の活動を、関与が得られる活動に移行していく。これを繰り返すことによって、組合員の関与を高め、仲間を増やし、活動に巻き込みながら、最終的には組合員自身が、取り組むべき活動を考えられる組織に変えていくことを目指しています。

「ON・I・ON2研修」はこの理念を体現したもので、(公社)国際経済労働研究所と(株)応用社会心理学研究所が多くの労働組合の協力を得て開発されました。

研究会発足から20年以上経た今でも、ON・I・ONプロジェクトは、多くの労働組合がこの理念に共感し、様々な形で「参加関与型組織」を目指した組合活動を進めています。



[事務局] 株式会社 応用社会心理学研究所(アспект)

〒540-0031 大阪府中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5階

TEL:06-6941-2171 FAX:06-6941-2081

Email: seminar1@aspect-net.co.jp